



モノの多さは、掃除などのメンテナンス作業に最も影響を与えます。水にぬれたままのシャンプーやトリートメントなどのボトルを放置すると、カビやぬめり、臭いの原因になります。浴室内で使うものは厳選して、本当に必要なものだけを置くことで、雑菌や悪臭の原因になるものが減り、掃除も楽になります

浴室内のインテリアも美しく

基本的にすべてオープンラックのため、シャンプーやトリートメントなど、置いておくものは「見せること」を意識して選びます。機能的に気に入っていても、見た目が気に入らない場合は、詰め替えボトルなどを活用しましょう



王朝時代は、当然ですが電気・水道・ガスのない時代です。水は井戸でくみ、お風呂はなく、井戸端で排水をしていました。その暮らしにも風水は関係していません。今回は、浴室について紹介します。

排水の良さと湿気対策

行水をしていた井戸は、基本的に母屋から見て、右斜め前方にありました(下イラスト参照)。この位置は、外から入ってくる際、ヒンプリンから左側の動線にあり、プライベート空間です。来客の動線には当たらず、また客間である一番座の座敷からは見えない位置になっています。琉球民家の敷地を立体的にみると、家の背後である北側と一番座のある東側の敷地が高く、家の前面である南側や西側の敷地

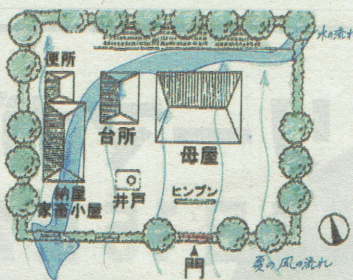
琉球 アロマと風水で すっきり ⑧

執筆/横川明子
(アロマ空間デザイナー・琉球風水スクール「アムリタ」主宰)

浴室① 琉球民家から見る造りのポイント

プライベート感保ち 清潔に

伝統的琉球民家の水の流れと風の流れ



資料提供/和来龍

健康運と愛情運に影響
風水では、住宅を人体とみな

は低くなっています。水はけが良く、雨水や生活排水が母屋の下を通らないように配慮されていたのです。
このような琉球民家の造りを、現代住宅の浴室に生かすには以下のポイントが挙げられます。
まずは、浴室がプライベート空間に配置され、来客の動線や視線を気にする必要がないか。視線や動線が気になるようなら、パーテーションや観葉植物などを置いて、プライベート感が保たれるよう工夫します。
次に、排水の良さと湿気対策。排水口の浄化や浴室使用後の湿気対策が、快適さを保つポイントとなります。

す考え方がありますが、浴室を人体に例えると、腎臓やぼうこうなどの泌尿器や生殖器に相当し、健康運、愛情運に影響するとされています。また、玄関(口)から住宅に入った財運が出ていく場所でもあります。
琉球民家のエッセンスを取り入れて快適な浴室にすることで、影響がある運氣アップも期待できます。さらに、アロマの香りや、目に映るものに美しいアイテムを選び、心も体も癒やされる空間にしていきましょう。
今回は、アロマを活用した具体的なお掃除法やバスタイムの楽しみ方をお話します。
(第4週に掲載)

よこかわ・あきこ / 東京都出身。マリンサファイア合同会社代表。アットアロマ社認定アロマ空間デザイナー。和来龍氏に師事し、琉球風水を学ぶ。講師のほか、琉球風水鑑定を行っている。☎090-7729-1020
ホームページ <http://aromarine.jp>
ブログ <http://ameblo.jp/marine-sapphire/>

